

# 第 35 回建設業経理事務士検定試験

## 4 級試験問題

### 注 意 事 項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。  
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた(例)に対する解答例にならって記入しなさい。(24点)

(例) 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 本社事務所用の建物を新築し、その代金¥9,000,000を小切手を振り出して支払った。
- (2) 本社事務員の出張のため、航空運賃¥40,000と宿泊費¥5,000を現金で支払った。
- (3) 現金¥500,000と土地¥1,000,000を元入れして、東京工務店を開業した。
- (4) 現場事務所の家賃¥20,000を現金で支払った。
- (5) 受注工事が完成したので発注者に引き渡し、工事代金¥400,000を発注者振出しの小切手で受け取った。
- (6) 銀行から¥500,000を借り入れ、利息¥5,000を差し引かれた手取額が当座預金に振り込まれた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 貸付金	E 建物
F 借入金	G 資本金	H 完成工事高	J 受取利息	K 受取家賃
L 土地	M 経費	N 給料	Q 旅費交通費	R 支払利息

〔第2問〕 次の設問に答えなさい。(20点)

問1 次の文の  の中に入る用語として適当と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～タ）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 建設業の簿記では、企業の経営活動の内容が帳簿に  1 に記録・計算・整理される。そして、それらを集計・要約するかたちで、定期的に次の報告書が作成される。
  1.  2 の企業の財政状態についての報告書
  2.  3 の企業の  4 についての報告書
  3.  3 の企業の完成工事原価についての報告書
- (2) 帳簿では、日々の  5 を仕訳して  6 へ記入し、総勘定元帳に  7 して、 8 ごとに資産・負債・資本（純資産）等の増減を記録・計算する。

〈用語群〉

ア 一定期間	イ 一定時点	ウ 完成工事高	エ 経営成績	オ 取引
カ 契約	キ 勘定口座	ク 勘定残高	コ 現金出納帳	サ 転記
シ 振替	ス 仕訳帳	セ 継続的	ソ 断続的	タ 期首

問2 次の表の（ア）～（シ）に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。期中に資本の追加元入れ及び引出しはなかったものとする。なお、当期純損失の場合は△（マイナス）の符号をつけること。

(単位：円)

年 度	期 首			期 末			収 益	費 用	当期純利益または 当期純損失(△)
	資 産	負 債	資 本 (純資産)	資 産	負 債	資 本 (純資産)			
a	90,000	40,000	(ア)	97,000	(イ)	(ウ)	35,000	(エ)	2,000
b	(オ)	15,000	(カ)	74,000	(キ)	55,000	(ク)	35,000	△5,000
c	95,000	(ケ)	(コ)	90,000	60,000	(サ)	50,000	42,000	(シ)

〔第3問〕 次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表(平成×7年1月31日)を完成しなさい。(30点)

<資料1> 平成×7年1月1日(期首)の勘定残高は次のとおりである。

現金 ¥400,000 当座預金 ¥100,000 備品 ¥80,000 借入金 ¥300,000 資本金 ¥280,000

<資料2> 平成×7年1月中の取引は次のとおりである。

- 4日 現金¥40,000を当座預金に預け入れた。
- 10日 工事現場の諸経費¥23,000を現金で支払った。
- 15日 外注していた工事代金の一部¥40,000を、小切手を振り出して支払った。
- 16日 受注工事が完成したので発注者に引き渡し、工事代金¥700,000を現金で受け取った。
- 20日 事務員の当月分給料¥90,000を現金で支払った。
- 27日 現場作業員の当月分賃金¥200,000を現金で支払った。
- 28日 借入金の利息¥4,000を現金で支払った。
- 30日 営業所の当月分家賃¥45,000が当座預金から引き落とされた。

〔第4問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。

(26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。